

1/26 海洋教育フォーラム 各学校の発表より その3

⑥ 剣崎小学校5年生 「ぼくらの防災マップ」

「津波から安全に避難する方法を知りたい」「いざというときに自分たちに何ができるのか知りたい」そのために地域をめぐり、地震や津波について学びました。地形図から、スチレンボードをのりで重ね合わせて作った、学校周辺の立体模型を作り、危険な場所を3Dでとらえることができたそうです。



⑦ 南下浦小学校4年生 「すごいぞ三浦！すごいぞ南下浦！」

～南下浦の海藻について知ろう～

1年間学習してきた海藻について発表しました。ワカメの体の仕組み、ワカメの種付けの様子の実演、テングサの色が変わっていく様子、ところてんの作り方など、自分たちが調べてみてわかったことをしっかり発表しました。三浦や南下浦の資源の豊かさを学ぶことができたようです。



⑧ 上宮田小学校5年生 「黄金に輝く松輪サバ」～伝統の技と心をつなぐ～

1年間学習してきた「松輪サバ」について、劇の形式で発表しました。漁師さん役の児童が、「やはず」（さばを針から外す道具）を使って、一瞬で冷水に落とした場面では、見学者から歓声が上がりました。漁業資源や海洋環境とも関係づけながら発表しました。



⑨ 三崎中学校1年生 「みうら・海洋に関する調べ学習」

夏休みの課題（みうら・海洋に関するテーマ）のレポートの中から、代表生徒が「ライフセービング」について発表しました。

海の事故があった時に、救助するときの注意事項や、二次災害を防ぐための方策などについて、役に立つ情報を、詳しく説明していました。

⑩ 南下浦中学校1年生 「防災」

～地震・津波発生のメカニズムと災害への対策～

津波発生装置（本研究所が購入したもの）とテレビを使って、津波発生のメカニズムをわかりやすく説明しました。海中で起こった地震によって、津波が押し寄せる様子がリアルに迫ってきました。発表者も落ち着いて説明していました。



(文責 事務局長 渋谷)